

## 診療科目 麻酔科

カテゴリー；選択必修科目、選択科目

一般目標：周術期の患者の全身管理と疼痛を緩和するという麻酔医の責務を習得するために、手術患者の麻酔管理を通して、循環・呼吸・疼痛管理についての知識を整理する。同時に手術麻酔に必要な手技を習得する。さらに、術後の重症患者の診療に携わり、輸液や人工呼吸管理などの全身管理を修得する。

### 【個別目標】

- ・ 全身麻酔を通して呼吸・循環管理の基礎を学ぶ。
- ・ 気道確保（マスク換気、気管挿管）の手技を習得する。声門上デバイス、気管支ファイバースコープの使用について理解する。
- ・ 呼吸生理学の理解。術中の呼吸管理を通して人工呼吸の基礎を学ぶ。
- ・ 術中の循環動態の変化への対応の仕方を学ぶ。循環作動薬の使用法を知る。
- ・ 各種麻酔薬、輸液の基礎知識を学ぶ。
- ・ 硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、各種神経ブロックを理解する。
- ・ 指導のもとで静脈路、中心静脈穿刺、動脈ラインの確保ができるようにする。
- ・ 適切な術後疼痛管理ができるようにする。

### 【指導原則・方法】

1. 指導医（指導補助医）の指導下に、正麻酔医として手術麻酔を担当する。
2. 指導医による術前診察の見学、および術前診察の実施
3. 術後ラウンドを行い、周術期における患者管理を理解する。